



首都Quito(キト)の街並み。アンデス山脈の麓、古代インカ都市を基盤とする街
(ホームステイ先の屋上から撮影)



2023年度2次隊 JICA シニア海外協力隊 数学教育 翠 雅司

iBuenos días! ブエノス・デイズ (おはようございます)。はじめまして、翠 雅司 (みすまさし)です。岐阜県教員を退職して、縁あって南米「エクアドル共和国」にきています。これから、エクアドルや、こちらでの生活、活動の様子などについてお伝えしていきたいと思っています。



緯度0° 標高2850mの首都Quito(キト)での生活が始まりました。ホームステイをしながら語学研修です。

エクアドルって？

スペイン語の赤道(Ecuador)から命名。
 面積：25.6万 km² (本州+九州)
 人口：1,776万人(2021年 IMF)
 民族：欧州系と先住民の混血72%、先住民7%、アフリカ系7%
 宗教：主にカトリック
 言語：スペイン語 (他 ケチュア語 等)
 時差：-14時間 (日本で正午は、エクアドルは前日の午後10時)
 地勢特徴：赤道直下の国であるが、大きく4つの地域に分けられる。
 ・コスタ (海岸地帯)
 ・シエラ (山岳地帯)
 ・オリエンテ (熱帯雨林地帯)
 ・ガラパゴス諸島
 スポーツ：サッカー(W杯にも出場)

主要産業：石油、バナナ、コーヒー、カカオ、生花、エビ、まぐろ



語学訓練！

同期8人が4つのクラスに分かれて、8:30~12:45 ネイティブの先生とトレーニング。休憩時間は、本場のコーヒーとスタッフ手作りの地元のお菓子を頂き、他の先生や他国の学生とも交流。

校外研修もあり、覚えた言語を使い、市場に行って買い物をしたり、世界遺産の旧市街を散策しながら説明を聞いたりと、充実した日々を過ごしました。

全く聞き取れない辛さと、言いたいことが口から出てこない難しさを痛感！



休憩時間に語学学校の屋上にて

旧市街(独立広場・大統領府)



ホームステイ！

全員別々のご家庭にステイ。エクアドルの家庭の味を味わい、生活を知ると同時に、文化や風習、言語学習と大事な時間を過ごしました。家庭ごとの生活の違いも、興味深いものでした。

私の家庭は、70代の女性1人暮らし週末にはご主人や息子さん、お母さん(92歳)や親類もみえ賑やかでした。

環境適応！

語学の大変さや、難しさは十分予想をしていましたが、この時期、私を最も苦しめたものは、病気でした。11月上旬と12月上旬、感染症にかかりました。いずれも予防接種や対策はしていったのですが……。環境の変化、特に高地(2850m)であること、そして加齢が影響したようです。肺のCTも撮り入院もしました。

健康だけは自信があったのですが、情けなかったです。JICAの現地スタッフの皆さんに助けていただきました。

ステイ先のホストマザーと

